

神奈川県立保土ヶ谷養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和元年度 神奈川県立保土ヶ谷養護学校 第2回 ほどう協議会		
開催日時	令和元年9月26日(木) 午前9時30分～11時30分		
開催場所	保土ヶ谷養護学校 保護者控室		
(役職名) 出席者	会長：渡部 匡隆、副会長：浅野 和則 委員：栗原 敏郎、大上 和成、小島 淳子、田中 久、岩井 敦子 片岡 充彦 事務局：向井 博幸、井上 浩子、村山 知美、横沢 秀和、渡部 正彦、 岩瀬 博文、柏原 旭、中谷 元、川口 圭子、石瀬 有治、 平澤 東子		
次回開催予定日	令和元年12月12日(木) 午前9時30分～11時30分 於：横浜平沼分教室		
問い合わせ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 向井 博幸 TEL 045-714-0581 FAX 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	・ 議事録	議事概要とした理由	/
審議(会議)経過	<p>○開会</p> <p>1. 副会長挨拶</p> <p>・一年前から協議会委員として出席しているが、良い経験になっている。学校が良い方向へ向かっていることも感じられる。例えば、ホームページが他校と比べて見やすい。また、夏季公開講座4講座、ふれあい作品展、施設開放、企業と語ろう・ボッチャ・オープンデーの開催等、これだけ地域・保護者と連携しオープンな学校は他にはない。</p> <p>2. 校長挨拶</p> <p>・地域に開かれた学校ということは常に考えている。しかし、働き方改革を考えると、子どものためだけではなく視点を変えていかないと課題の解決は難しい。地域との連携のバランスも考えていかなければならない。評価部会でいろいろな意見を出していただければと思う。</p> <p>3. 出席者及び会成立の確認</p> <p>・委員8名、事務局11名の出席により、成立。</p> <p>4. 資料確認、流れ説明</p> <p>5. 職員研修、及び清掃技能検定の報告(※資料参照)</p> <p>(1)職員研修報告(教頭)</p> <p>・センター研修、一般研修は教員が自主的に受けた。合計の194は正規職員対象</p>		

のものである。

・「研修報告書」綴りを窓側に置いたので、ご覧いただきたい。

(2) 清掃技能検定報告(舞岡分教室リーダー)

・清掃検定は、「始めます」から「終わります」までの挨拶、安全、手順等、諸々の基準で審査を行う。参加者 40 名は県内で最多、今年度は4種目で参加、審査員として教員も4名参加した。20 点満点のうち 19・20 点で1級、安全や時間等で減点になるので、生徒たちは頑張って臨んだ。

〈質疑応答〉

・(副会長)10月26日アビリンピックで清掃部門があり、弊社の社員も参加するため舞岡分教室を見学した。社員より上手な生徒もおり、先生が審査員として多く参加しているのも高い技能の要因だと思う。とても良いこと。

・(会長)職員研修の取組は今後も進めてほしい。清掃検定の審査員を教員がやっているということは校内でも取り組まれているということ。取得率も知りたい。引き続き取り組みを進めてほしい。

6. 切れ目ない支援部会審議(※資料参照)

・(教頭)令和元年度切れ目のない支援部会の委員及び構成員が提案された。合わせて、部会長と副部会長は委員の中から選出することになっていること、本年度は他校と各学部の交流について話し合いまとめていくこと、自治会長とは地域との連携について話し合っていくという活動方針が説明された。

・審議の結果、承認された。

7. 第2回 学校評価部会に係る報告と協議(※資料参照)

(1) 令和元年度学校評価(中間評価)全体報告

・(副校長)令和元年度の5つの学校目標をグループ、班、学部毎に何に取り組むかマトリクス化した。その結果、学校目標の達成に向けた取組の特色や傾向が読み取りやすくなった。一方、目標設定に偏りがあり、特に管理面の目標設定が十分でなかったため次年度、改善につなげたい。

(2) 令和元年度学校評価(中間評価)個別報告

・(副校長)資料に沿って学校目標1から5までの中間評価を順次説明した。

・(委員質問)HUG 研修、DIG 研修とは？

→HUG は、避難所運営ゲーム。DIG は、災害図上訓練である。

(3) 令和元年度学校評価(中間評価)関連グループ報告

・(関係総括教諭)パワーポイント資料に沿ってグループ毎の取組を補足説明した。

(4) 令和元年度学校評価(中間評価)に係る協議

・(副会長)学校目標に向けた4つのグループの関連が明確になった。取り組む先生たちの再確認にもなったと思う。また、前回要望した安全管理マニュアルも配付されて良かった。

・(委員A)今までの中で一番進んだ内容だった。今までは項目はわかるが、中身が追い付いているのか？と思っていたが、先生たちのやってきたことが実を結んだ。清掃検定のランクはよく分からないが、一番上のランクが取れた生徒は自信をもって将来働けるだろう、大勢参加していることも、素晴らしい。

・(委員B)今までで一番細かく整理されている。事前に資料をもらえるとよい。自立活動がきちんと取り組まれている。軽度の人だけでなく重度の人にも視点が当てられていることが提示されており、安心した。研修もよく取り組まれている。研修方法として座学だけでなくワーク形式がよい。今後も取り組んでほしい。

・(委員C)マトリクスがよくできている。わかりやすい。目標は年度初めに作って終わりになりやすいが、日々の業務が目標に繋がっていることがわかりやすい。モチベーションにもなる。研修は専門性を高めるのに重要なので、モチベーションを高めるために行っている工夫(①)、研修後にどう還元しているか(②)教えてほしい。

・(委員D)今回の説明で学校の具体的な活動がわかった。今後、地域との連携を進めるために、どう理解してもらおうかが大切。今は学校の活動を見るだけで、ほとんど理解できていない。子どもたちと接することで理解をすすめる方策を模索していきたい。

・(委員E) HUG 研修は、子どもたちにもやってほしい(③)。

→(①について)管理職から働きかけるといった特別な仕掛けをしているわけではないが、進路見学で言えば企業・地域の方たちからの視点をいただけることがモチベーションになっている。課題に対する指導法をセンター研修で学んで指導に活かしている。

・複数担任なので、ベテランと若手を組み合わせることで若手のモチベーションを高めている。管理職や総括教諭が授業の指導助言をする中で、モチベーションを高める投げかけをしている。

→(②について)授業に還元している。HUG 等、教員に還元できるものは伝達研修を行う。

→(③について)児童生徒には、色々な場面で災害発生時にどうするか、今整理中である。

〈協議〉

・(副校長)マトリクスで◎が最多なのがアセスメント、授業づくり、共生社会、事故・不祥事となっている。本年度の後半の取組に向けてご意見をいただきたい。

・(会長)マトリクスは学校目標の達成に向けた取組を客観的に把握するために重要となる。今後も活用してほしい。

・シェイクアウトは児童生徒の障害特性を考え、合理的配慮をしながら進める必要がある。

・授業視察では、よい交流が取り組んでいると感じた。今後のアイデアの一つとして、児童が企画運営することも考えてはどうか。

・共同学習室の廊下が雑然としていて、防災上気になった。

・「学びの連続性」は分掌等が担いがちだが、教員一人ひとりがカリキュラムマネジメントの視点から取り組んでいかなければならない。

・タブレットはお楽しみになりがちなので、活用の工夫を考える必要がある。

・中間評価の達成状況の記述が抽象的などところがある。例えば、学校目標1の目標(2)関連で《管理運営 G》「☆タブレット端末の管理体制を、学部ニーズに合わせる形へ」とある。学部のニーズに合わせる形とは、具体的にどんな形なのか、これまでの管理体制とどのように異なるのかを明確にしなければ継続的、組織的にならない。一般的に、できるだけ取り組んだことを具体的に示してほしい。

	<p>・(委員C)マトリクスは有効なツールだと思う。◎○は誰が付けたのか、次年度に向けてどのようにしていくのか知りたい。</p> <p>→(副校長) ◎○はグループ会議を経て GL・学部 L が付けた。次年度に向けては前任校では ABC 評価をしていた。どう引き継ぎ、評価していくかを検討していきたい。</p> <p>・(委員C)マトリクス表をグループ毎や教員間で相互に確認する機会はあるのか。そうすることで全体を見てどう思うのか、新しい取り組みが生まれてくるのではないか。</p> <p>→(副校長)職員会議で、全員が確認するようにはしている。いただいたご意見を今後に活かしてまいりたい。</p> <p>〈承認〉</p> <p>・中間評価について全委員が承認した。</p> <p>8. 授業視察</p> <p>・小学部高学年の近隣小学校との交流活動について視察した。</p> <p>9. 「かながわ教育月間フォーラム」等について</p> <p>・(校長)11月2日「人づくりコラボ」のメインテーマは「スポーツを通して、つながる広がる人づくりのわ」である。その前段階として、本校で10月12日ポッチャイベントを行う。そのことを通じて、人づくりにスポーツがどう生きていくのかを考えていきたい。</p> <p>・(会長)11月2日の話題提供の内容は？</p> <p>→(校長)ポッチャイベントの報告である。</p> <p>・(会長)人づくりの“人”とはだれを指すか？近隣高校との昨年度の交流等、良い取り組みだったと思うが。</p> <p>→(校長)近隣諸学校との交流の紹介も行う予定である。</p> <p>10. 事務連絡</p> <p>・(副校長) 次回は、横浜平沼分教室で行いたい。12月12日(木)か19日(木)で調整したい。</p> <p>→委員の動向を聴き、12日(木)で調整。</p> <p>11. 校長挨拶</p> <p>・いただいた意見を真摯に受け止め、職員にも伝達して学校運営に活かしていきたい。今後ともよろしく願います。</p> <p>○閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>※添付なし</p>